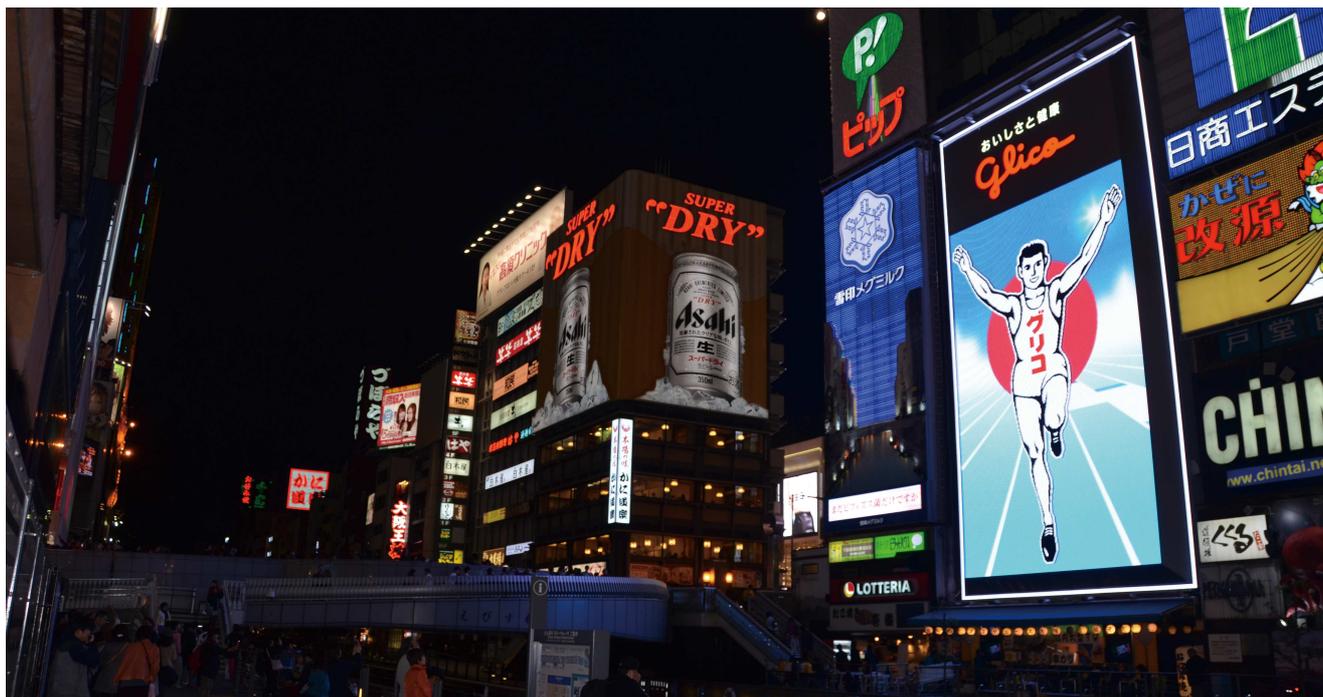


真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第16号

平成27年(2015年)
1月1日 発行



六代目、道頓堀「グリコの看板」

俳優の佐藤健さんが達人に会いたいと比叡山を訪ね、千日回峰行を満行された光永圓道阿闍梨を紹介されました。そこで阿闍梨さんは伝教大師の詠まれた和歌の中から、依り所となる場所の大切さを説いた「えしん依身よりえしよ依所」のお言葉を彼に贈りました。

我々は自分の力だけで我が人生を築き上げていると思ひ込んでいます。しかし、たくさん縁が我々を支えてくれているのです。この環境があったからこそ今の自分があるのだと「依所」に気づかされることが大切です。その事実にならずけたなら、たとえ人生の中でどんな困難にぶちあたっても、自分自身の人生を引き受けていくことができるのです。

「決して自分ひとりの力ではなく、周りのおかげでここまで生きてこられたことに感謝してください」

このことを、阿闍梨さんは「依身より依所」の言葉に込めて、剣の達人を演じた佐藤さんに贈られたでしょう。

(葦名 彰)



と う ひ が ん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

光福寺 たまで そうじゆん
玉出宗順

り方を意味しています。

誰が盲冥なのか

以前「子どもに首輪を付けて放置」という報道がありました。いわゆるネグレクト（育児放棄）です。そんな報道を聞きたび眉をひそめ、「盲冥」とはこういうことだと思っていました。

ところが妻はこのような報道を見てぼつりと「私たちもよく似たことをしているよね」といいました。

それは外出先で子どもを静かにさせ、ゆっくり食事をしたがために携帯の動画を見せて静かにさせていることを指していました。

私自身にも「盲冥」があるということです。

つまり自分の時間を得たいがために動画を見せることは、子どもに首輪を付けて育児放棄する親と重なるものがあるわけです。

道徳とのさかい目

あるお寺でこの話をしたとき、こんな質問をいただきました。「自分自身にも盲冥あるのだと知らされた」と言われたが、その気づきは道徳的な気づきであって阿弥陀仏の光に遇って気づいたとはいえないのではないか」と。

正直、私自身もその質問を受けて光に遇ったらどのような生活が始まるのか、それは道徳的な気づきとどんな違いがあるのかはつきりしていません。

しかし、光に会うことで盲冥を抱えている身への問いというものが生まれ、てくるのではないかといただいています。

(平成26年9月26日勤修の

大阪別院彼岸会法話より)



本日は「弥陀成仏のこのかたは、いまに十劫をへたまえり 法身の光輪きわもなく 世の盲冥をてらすなり」という御和讃の「世の盲冥」を中心に話したいと思います。

「盲冥」とは薄暗く見えないという意味になりますが、この和讃においては色々なありようが見えていない「無明」というあり方、自分は間違いないという慢心・我執に囚われた「愚痴」のあ

如にょ是ぜ我が聞もん

若にやく不生ふし者しょうのちかい

滋賀北教区・安楽寺 宮尾睦雄みやおむつお師



う安心を感じられたそうです。

悪人あくにん正機しょうきの救い

私は提婆のことを悪人というイメージばかりで受け止めていました。親鸞聖人はその提婆を尊者とまでいただかれたいのかと、ご法話を通して改めて驚きを感じました。

提婆は、あえて王舎城おうしゃじょうの悲劇を演じ、悪人の汚名を引き受けて、この私をお念仏に導いてくださる尊者であったのです。

悪人・提婆の生き様は、まさしくこの私自身の姿そのものであると知らされました。そしてその者こそを目当てとして、お念仏を届けてくださるのが阿弥陀さまのお慈悲であったと、改めて感じさせていただく有り難いご法縁でした。

(門川崇志 記)

平成26年10月27日、大阪別院で報恩講が厳修されました。

宮尾睦雄師は、恵照ご門主が御親教に引かれた「若にやく不生ふし者しょうのちかいゆえしんぎょう 信樂しんぎょうまことにときいたり 一念いちねん慶喜ぎょうきするひとは 往生おうじやうかならずさだまりぬ」をご讃題としてご法話くださいました。

このご和讃は、一人も漏らさず必ず救うという阿弥陀さまのご本願が、今この私にお念仏となつて届いてくださったことを、親鸞聖人がよろこばれたお歌です。

提婆だいば尊者そんじや

宮尾師は長年お聖教に触れてきた中で、心に響いた親鸞聖人のお言葉をいくつかご紹介くださいました。その中の一つが先ほどのご讃題と同じ「浄土和讃」の中にある「提婆尊者」というお言葉です。こ

こには親鸞聖人が、自身をお念仏へと導いてくださった方々のお名前を列挙されますが、そこに阿弥陀如来、釈迦牟尼如来、頻婆娑羅王びんばしやらおうに並んで、提婆を尊者としていた

かれていますのです。

悪人・提婆

『観経』にも登場する提婆は、阿闍世王子あじやせをそそのかして父・頻婆娑羅王を殺して王位を奪わせ、自身も釈尊に代わって教団の指導者になるために、釈尊の殺害を企てた人物です。

親鸞聖人はその悪人である提婆を、阿弥陀さまやお釈迦さまと同じように仰がれ、尊者とおっしゃっているのです。そのお言葉に触れ、驚きとともに自身が救われたとい

大阪探検

落語家と行く なにわ探検クルーズ

「落語家と行くなにわ探検クルーズ」は、大阪の街を落語家さんの案内で、船に乗り川から探検する遊覧観光です。

笑いながら、うなずきながら

京セラドーム大阪、フェスティバルホール、市役所、中央公会堂、大阪城、グリコの看板等、大阪の名所を、日替わりの若手落語家さんが軽快なトークでガイドしてくれます。また、落語家さんの小噺を楽しむことも。

さらには「潮の干満によって川の水位が変動しないのはなぜか?」「大阪市の市章となっている湊標(湊)とは何か?」等、「ほく」とうなずける豆知識も教えてくれたり。

また、船に乗ることであらためて大阪の橋の多さにも気づかされます。橋から眺めている人と手を振りながらの乗船です。

違う目線で

私が乗ったのは、湊町船着場(地図内A)を発着し大阪市内を一周する「川の環状線コース」。そのほかにユニバーサルシティ(地図内B)から湊町船着場までの「川のゆめ咲線コース」があります。

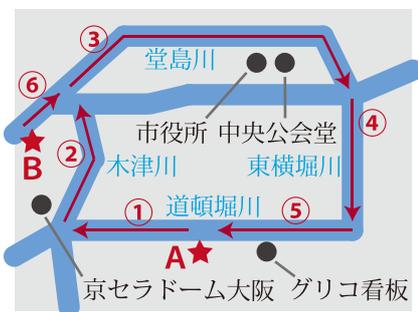
普段とは違う目線で見る大阪の街は、大阪の方も、大阪以外の方も楽しめること間違いなし。乗船料金は、大人3千円、子ども千円。運行スケジュール、食べ物・飲み物の料金等はホームページをご覧ください。(隅谷俊紀)



船内から見た「大阪市役所」



遊覧船「ほたる号」



川の環状線コース

A→①～⑤→A

川のゆめ咲線コース

B→⑥→③～⑤→A

電話予約 06-6441-0532

<http://www.ipponmatsu.co.jp/cruise/naniwa.html>

全国の

ごえんさんを訪ねて

しょうみょうじ

称名寺 (滋賀)

ひのともみ

日野智深 住職



称名寺本堂

今回は滋賀県栗東市の栗溪山りっけいざん称名寺第14世日野智深住職をお訪ねしました。称名寺は栗東駅より徒歩約15分、新しい住宅地の中に緑が多く残るのどかな地域です。

称名寺は、過去帳の最も古い年号の延宝4(1676)年をもって草創とされています。

住職として

宗教離れ、寺離れが進んでいる中、本来、寺として何をすべき



昨年厳修された大遠忌法要の様子

かを考え、実践していきたいということでした。葬儀や法事を勤めるだけがお寺の仕事ではなく、地域社会の中心となり、できるだけ多くの方がお寺に関わりをもち、心のよりどころとなる。そして親鸞聖人の教えを共に聴いていける活動を進めようと考えておられます。

お釈迦さまがあきらかにされた仏教は、亡くなった人ではなく、今を生きる私たちへの教えです。それは与えられた現場を引き受け

られる教えであり、多くの方と共にそのような教えに出遇っていただけるお寺にしていきたいと住職の抱負を語っていただきました。

また、住職は本山で式務衆・布教使として活躍しておられます。

称名寺の活動

子ども会を開き本堂での宿泊、寺子屋教室、花まつり、子ども報恩講などの行事をされています。

また、お正月には本山までたくさんの方と共約30kmの道のりを、徒歩でお参りされています。(寿栄松正顕)

■称名寺 (しょうみょうじ)

〒520-3026

滋賀県栗東市下鈎386

電話 077-552-1649

Fax 077-552-1649

大悲トピックス

■佛青懇和会・聞法の集い開催

9月28日、大阪別院にて佛青懇和会主催「聞法の集い」が開催されました。

脇阪義仁師、道野真弘師ならびに中井賢隆師の3名の布教使による法話のあと、活発な質疑応答がなされました。

また終了後には、和やかに懇

親会を開催しました。



布教される中井賢隆師



燦ホールディングスグループ



法要料理 ■四條畷店 ☎0743-78-7521
■瓜破店 ☎06-6769-0140
■伊丹店 ☎072-773-7531

※2012年5月現在 2-0132

御本山 近 用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055
(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話(075)371-0367(代)
FAX(075)371-5088

御本山佛光寺御用達

井筒法衣店

〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)
フリーダイヤルTEL 0120-075-720番
フリーダイヤルFAX 0120-075-490番

株式会社 モントラベル

〒550-0013
大阪市西区新町1-8-1 行成ビル
TEL. 06-6531-1344
FAX. 06-6531-1346
<http://www.monto.co.jp>
仏跡参拝ならお任せください!

(株) 小林造園

代表取締役：小林正典
〒603-8442
京都市北区西野山東町 36-1
tel 075-491-4256
fax 075-491-9432

燦ホールディングスグループ

まごころ葬儀を創造する。

公益社

公益社 葬儀相談センター (24時間・365日受付・通話料無料・携帯電話OK)

0120-567-701

※2012年5月現在 2-0131

表具 八木米寿堂

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑
寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

京懐石

慶事、仏事、各種会合等の際は、
和光菴の仕出し料理を
御利用下さい。

和光菴

株式会社 和光菴
〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町3-32
TEL06-6774-8090 www.wakouan.co.jp

西天満店 結心(ゆいごころ)
〒530-0047 大阪市北区西天満4-10-5-1 階
TEL06-6809-6311 www.yuigokoro.com

だいひ 絵日記

- 10月15日(水) さつき会研修会(地獄のしるし・講師:福嶋崇雄 師)
- 10月23日(木) 大悲の会編集会議(第16号読み合わせ)
- 10月24日(金) 佛青懇和会大阪別院仏具おみがき ①
- 10月27日(月) 大阪別院報恩講(布教:宮尾睦雄 師) ②③
- 10月28日(火) 佛青懇和会研修会(よしもと新喜劇鑑賞)
- 11月19日(水) 大悲の会編集会議(第16号読み合わせ)(光福寺にて) ④
- 11月27日(木) さつき会研修会(~28日)(御正忌報恩講奉仕活動)
- 12月 2日(火) さつき会研修会(フラワーアレンジメント)
- 12月 4日(木) 佛青懇和会研修会(書道講習会)
- 12月25日(木) 大悲の会編集会議(第16号発送作業・第17号内容検討)
- 12月27日(土) 佛青懇和会研修会(雅楽講習会)



和奏の会 翠笛会

寺院のイベントに邦楽(尺八・箏)出張演奏いたします。
 曲目はリクエストできます。
 事務局:阪南市新町 宝林寺
 電話 072-472-1414
<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>

創業安政3年
 京 佛 具 調 進
 森田屋

福野御佛具處

〒601-8424
 京都市南区西九条猪熊通九条上る
 tel. fax 075-691-8423

「大悲の会」御用達

鮎 旬魚菜 きぐち

地下鉄御堂筋線あびこ駅前
 tel. 06-6696-6880
 〒558-0011 大阪市住吉区苅田 7-5-20
 さつきマンション 1F

夕に感謝 (株) 若林

朝に感謝 (株) 若林
 伝統工芸 京仏壇・京仏具
 www.wakabayashi.co.jp
 京都市下京区七条通新町東入
 ☎(075)371-3131代 年中無休
 E-mail info@wakabayashi.co.jp
 フリーダイヤル ☎0120-37-8585(各店共通)
 東京店・築地店・札幌店・仙台店・近江草津店・福岡・新潟

高 滝本法衣店

〒600-8150
 京都市下京区東洞院通
 上珠数屋町下ル
 TEL. 075-371-2852
 FAX. 075-371-2857

社会福祉法人 至心会

淡路介護老人福祉施設ピハラー
 (特別養護老人ホーム・ショートステイ)
 東淀川区淡路 5-11-17
 電話:06(6370)5501

東淀川区中部地域包括支援センター ぴはら
 (地域包括支援センター)
 電話:06(6325)6915

ピハラーこのみ園
 (デイサービス・訪問介護・居宅介護支援)
 東淀川区菅原 7-15-14
 電話:06(6325)6911

私たちが求めるもの。
 それは、支え合う人間関係です。

協 賛

法 友 会
 さ つ き 会
 佛 青 懇 和 会

— 法語をご家庭に —

直枉カレンダー

〒546-0011
 大阪市東住吉区針中野2-3-59
 仏願寺 藤井良丸
 TEL. 06-6702-0994
 FAX. 06-6797-0235



大阪教区・別院 行事予定



大阪別院（どなた様でもお参りいただけます）

- 1月2日（金）正午 修正会
- 3月18日（水）午後2時 彼岸会
法話：勝部正典 師（光圓寺）
- 3月21日（土・祝）午後2時 彼岸会
法話：佐々木太一 師（常光寺）
- 3月24日（火）午後2時 彼岸会
法話：脇阪義仁 師（霊松寺）

法友会（住職会）

- 2月3日（火）午後6時半 研修会
講題：佛光寺派内陣出仕作法
講師：寿栄松正信 師（西光寺）

さつき会（坊守会）

- 1月19日（月）午前11時 研修会
文楽鑑賞

佛青懇和会（青年会）

- 1月31日（土）午後6時 雅楽研修会
- 2月28日（土）午後6時 雅楽研修会
- 3月28日（土）午後6時 雅楽研修会

大悲の会（『大悲』編集会議）

- 1月22日（木）午後6時 編集会議
- 2月17日（火）午後6時 編集会議
- 3月25日（水）午後6時 編集会議

※場所明記のない行事は大阪別院で開催

編集後記

★『大悲』巻頭の写真を募集しています。きれいに撮れている「これぞ大阪」という一枚をお待ちしています。★佛青懇和会では2年ほど前から毎月、雅楽のお稽古をしています。そしてその成果を発表すべく、10月27日の大阪別院報恩講で、法要中の附楽をさせていただきました。ベテラン3名に初心者3名、

合計6名での演奏は法要に華をそえました。★内輪話ですが…。1月25日、午後2時より、正念寺（長田住職）聞法会で「大悲の会」の若手布教使（寿栄松、門川、玉出）が法話をします。『大悲』編集で培った構構力が活かされているかどうか、是非ともご聴聞ください。聞法会の参加費は500円です。（隅谷俊紀）

大阪教区・別院だより『大悲』第16号
平成27年(2015年)1月1日発行（発行部数2100部）
発行：大悲の会
事務所：佛光寺大阪別院内
〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話06-6691-1362
郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」
大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会
長田 譲(会長) 佐々木太一
隅谷俊紀(副会長) 葦名 彰
寿栄松正顕(会計)
玉出宗順(会計)
門川崇志(監事)